

日本メンテナンス工業会

Japan Association of Maintenance and Service Contractors

会報

通巻

第101号

Vol. 29, No. 1
2018.7

Maintenances for the Future

世界をメンテナンスが
支えています

日本メンテナンス工業会は、
メンテナンス・サービス企業の同業者団体として
1990年に設立され、総合、機械、電気、計装など
各分野の信頼できる企業が会員です。

JAMSEC News

平成30年度通常総会開催

特別記事

第2回日本メンテナンス工業会表彰

トピックス

IIoT~フィールドデジタル情報を活用した保全の高度化 横河ソリューションサービス株式会社

特集・安全衛生

当社の安全衛生の取り組み 横河ソリューションサービス株式会社

特集・人材育成

当社の「資産=人材」の育成について 株式会社高田工業所

特集・プラント業界で活躍するリケジョ

品質管理=当たり前を維持する仕事 株式会社高田工業所

メンテナンスの進化を支える者達

株式会社興電舎/尼崎電機株式会社/三井E&Sプラントエンジニアリング株式会社

発行：日本メンテナンス工業会

目 次

【巻頭言】		
『横文字社会の輝く人財像』	中村 公大	1
【JAMSEC News】		
平成30年度 通常総会開かれる		2
平成30年度 理事会役員		9
平成30年度事業計画		10
委員会活動状況		11
会員各社の動静		15
メンテナンス・レジリエンスTOKYO2018開催報告		16
【ものづくり・メンテナンス余話】		
日本メンテナンス工業会を振り返って	吉岡 成	17
【特別記事】		
第2回日本メンテナンス工業会表彰		18
第2回日本メンテナンス工業会表彰 表彰式開催		22
【トピックス】		
IIoT～フィールドデジタル情報を活用した保全の高度化	横河ソリューションサービス株式会社 石川 武弘	26
【随筆】		
久しぶりの海外出張	横河ソリューションサービス株式会社 小林 聡	32
【特集・安全衛生】		
当社の安全衛生の取り組み	横河ソリューションサービス株式会社 神島 直樹	34
【特集・人材育成】		
当社の「資産＝人材」の育成について～能力を「伸ばす機会」と「発揮する場」の提供～	株式会社高田工業所 福島 陽子	39
【特集・プラント業界で活躍するリケジョ】		
品質管理＝当たり前を維持する仕事	株式会社高田工業所 藤田 志織	44
【Coffee Break】		
心に甦る風景	新興プランテック株式会社 金重 正規	46
【メンテナンスの進化を支える者達】		
メンテナンスのプロを目指して	株式会社興電舎 兒玉 健斗	48
信頼のために	尼崎電機株式会社 竹村 蒼太	49
達成感の共有と信頼関係	三井E&Sプラントエンジニアリング株式会社 岡原 武志	50
【会員会社紹介】		
エムイーシーテクノ株式会社／株式会社中部プラントサービス／新日本非破壊検査株式会社／アスク・サンシンエンジニアリング株式会社／千代田システムテクノロジーズ株式会社／JXエンジニアリング株式会社／株式会社明電エンジニアリング		51
【事務局より】		
西日本工業大学での連携講座の開講 ほか		55
日本メンテナンス工業会 頒布資料申込書		56
日本メンテナンス工業会 会員名簿		57

■ 巻頭言 ■



『横文字社会の輝く人財像』

副会長 中村 公大
山九株式会社
代表取締役社長

この数年、AI、IoT、イノベーション、Society5.0等に代表されるように、社会全体が横文字に溢れる時代となってきました。我々メンテナンス業界においても同様に、横文字社会の波にさらされているように感じる事が多くあります。こうした横文字で表現される言葉は、現状を打破する新しい概念であって、輝かしい未来をもたらすものと期待されるものです。

ただ我々の業界の足元を見てみると、別の次元でさまざまな課題があるのも事実です。例えば、少子高齢化、働き方改革、プラント設備の老朽化等、社会の基盤のところではリスクが顕在化してきています。

わが国は少子高齢化の進行によって、人口減少社会が到来しており、労働人口においても減少の一途をたどっているのが現状です。現在話題にもなっている「働き方改革法案」は、労働人口減少の面から、長時間労働等について従来に比べ規制を強めており、各企業は個別の対応を迫られていることとなります。

また、石油・石油化学業界のプラント設備オーナーにおいては、稼動から40年以上の高経年化設備が殆どである中で、安全・安定操業を維持しつつ、世界の最新鋭設備や安価な労働コストによる製品と戦っていかねばならない状況にあります。

このような困難なリスクが顕在化する中で、そのリスクを解消する取り組みとして、外国人労働者の活躍やAI、IoT等のイノベーションの導入が挙げられていますが、現場目線で考えますと、「魔法の合言葉」のように使われている気がしてなりません。外国人労働者の活躍は、作業指示、安全指示等の言葉の問題や技術・技能レベルの確認、雇入れ企業による身元保証等、現実的にはかなりハードルが高いと言わざるを得ません。

IoT、AI等のイノベーションにおいては、常例作業はともかく、数年に一度のSDMを導入することに対し投資的にも魅力があるかどうかは、疑問のあるところです。また、AIの活用から作業者の技能力や緊急時への対応力の低下が見込まれ、新たな課題をもたらすのではないかと危惧されます。

そこで、会員各社の皆様が安心に・安全に・安定して働けるように「Work Resource Mix」（横文字で申し訳ない）を提唱したいと考えています。

これは我が国のエネルギーセキュリティ（電力の安定供給、経済性、環境保全）の面から原子力・火力・水力・再生可能エネルギーなどの多様なエネルギー資源をバランスよく組み合わせて最大限に活用する「エネルギーミックス」に着想を得たもので、年齢・経験・性別・スキルや資格の有無に加え、将来的には国籍なども含めた多様な特色を持つ人財とIoTやAIとを事案ごとに最大限に活用できるような組み合わせを模索する仕組みと言えます。

「激動」と表される昨今の世界情勢の中において、変化を余儀なくされているお客様のニーズに対し、最適な作業体制で柔軟かつタイムリーに対応することこそがメンテナンス業界に求められていることであり、顧客の変化がAI化という形だけで進んでしまえば、我々メンテナンス業界全体が「AIに使われる」集団になってしまう可能性すらあるのではないのでしょうか。

逆に「Work Resource Mix」という仕組みで多様性の1ピースとして活躍ができるように、「AIを使いこなす」「AIにはできない技能を身に付ける」といった差別化した人材育成を推し進めることや業界全体での連携を深めることにより、今後のメンテナンスの在り方を追求していきたいと切に願っています。